

子ども達の笑顔に出会う旅

三条〇〇
藤島由宇

2010年2月21日 ますだっ子元気アッププロジェクト（島根県益田市）

まさかこんな形で再び益田市を訪れる事ができるとは思ってもみませんでした。

■益田市よりクイック〇実施の報せが届く■

昨年12月19日に兵庫県三木市で開催された普及方法研修会にご参加いただいた小原哲朗さん（島根県オリエンテーリング協会）から「益田市でクイック〇オリエンテーリングを実施する事が決定した」とのメールが届きました。研修会からわずか10日後のことでした。

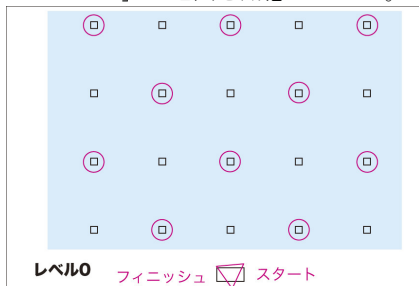
■「ますだっ子元気アッププロジェクト」とは？■

「ますだっ子元気アッププロジェクト」とは、様々なスポーツやゲーム活動を通じて地域の子ども達の体力を向上させる…という趣旨のイベントです。主催は島根県教育委員会と益田市教育委員会で、文部科学省の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」に基づく子どもの体力向上支援事業の助成を受け、昨年11月から今年2月にかけて全11回の日程で実施されました。

■本番当日■

会場の豊川小学校体育館には前日にイスを並べておいたので、当日の準備はSIステーションをイスに載せていき、パソコンを立ち上げるだけです。あまりにも短時間で準備が済んでしまったため、小原さんも驚いておりました。

コースは昨年10月のトキめき新潟国体デモスポ大会で実施した時のものをそのまま用いました。ただしSIの操作とクイック〇の練習のために新たに「レベル0」の地図を用意しました。



新たに作成したレベル0の地図。フリーポイント形式での練習だが、この段階で子ども達はすでに走りまわっていた。



4人のスタッフ（左から市職員の佐々木さん、渡邊さん、筆者、小原さん）と8人のますだっ子たち

■一人で走る走る走る！■

今回の参加者は8名と少人数でしたので、レベルごとに1人ずつ順番にコースをまわってもらうことにしました。

ますだっ子の理解度は実に素晴らしく、ミスをした子どもは数人しかおらず、しかもミスの回数多くて2回という好成績で感心しました。4つのレベルを終えたらレベル1~4を覚えてまわる「レベル5~8」にチャレンジしてもらいましたが、これもほとんどの子どもがレベル8まで覚えて廻って来られました。タイムが気になる子ども達はパソコンの画面に釘付けとなっていました。予定していた1時間半はあっという間に過ぎました。



クイック〇の説明をする小原さん

今回のイベントは、小原さんの素晴らしいアクションのおかげで実施されました。皆さんの街でもこのような子ども向けイベントのニーズがあるかもしれませんので、ぜひアンテナを広く張り、

クイック〇を売り込んでいただきたいと願うものです。



楽しそうに走るますだっ子

また小原さんからは今回のイベントの報告書が後日届きまして、その中で「指導員資格の必要性」を指摘しておられます。外部団体にオリエンテーリングを指導する際、特に行政が関連するイベントの場合には「ディレクター」の資格が絶対に必要です。ですから指導員資格をお持ちの方は更新を忘れないようにしていただきたいと思います。ディレクター資格を持つメリットは、オリエンテーリングの仲間を増やせることにあるのですから。

（藤島由宇）